

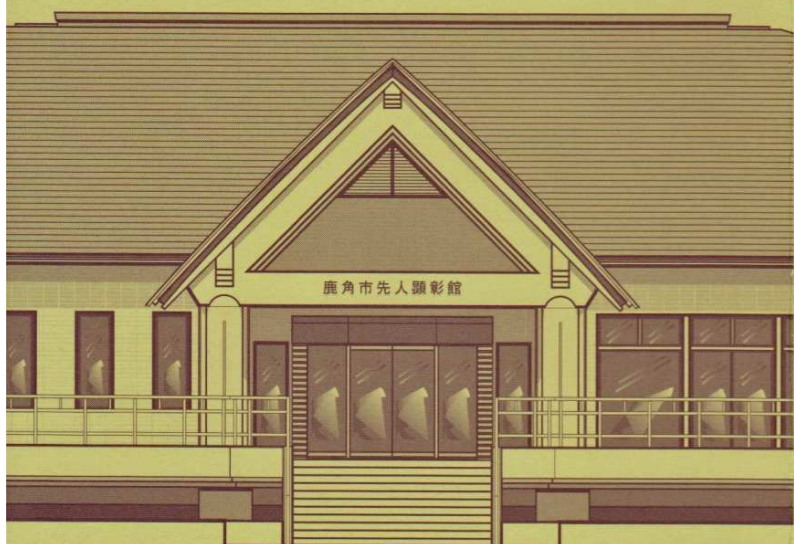
新しい文化を築いた人々…


先人顕彰シリーズ⑨

## 黒沢隆朝 大里健治

当先人顕彰館は、鹿角にゆかりの深い先人に関する資料の発掘収集・保存、事跡の調査研究と公開展示をしております。

世界的な東洋史学者「内藤湖南」、十和田湖の開発に尽力した「和井内貞行」の両氏をメインに常設展示し、さらに各界の先覚者を順に展示紹介しております。



鹿角市先人顕彰館  FAX 0186-35-5250

〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字柏崎3番地の2

## 略 歴

### ◎黒沢 隆朝

- 明治28年 1895 ● 神明社神官黒沢幸太郎・ソメの長男として花輪に生まれる。
- 大正5年 1916 ● 秋田師範卒、八幡平の曙小学校勤務。同7年東京音楽学校師範科入学。
- 大正10年 1921 ● 東京音楽学校卒業後、高知師範教諭となる。翌年東京の小学校に転任。
- 昭和2年 1927 ● 自作集「可愛い童謡」全十集を完成。同4年「童謡唱歌名曲全集」編集。
- 昭和5年 1930 ● 出版社と契約、その後音楽教科書の編集を20年続ける。6年小学校退職。
- 昭和14年 1939 ● 東南アジア、同18年台湾の音楽調査、のちの民族音楽研究の基となる。
- 昭和15年 1940 ● ～晩年まで、川村学園中学・短大、東邦音大、早大などで音楽を指導する。
- 昭和53年 1987 ● 「音楽起源論」を出版。昭和62年東京で死去、享年93歳。

### ◎大里 健治

- 明治31年 1898 ● 大里巳代治・ミツの二男として毛馬内に生まれる。
- 大正2年 1913 ● 毛馬内小学校卒業、同8年東京真砂音楽教室で音楽理論を学ぶ。
- 昭和18年 1943 ● 秋田郷土芸術保存会理事となり郷土芸術の振興保存と調査に当たる。
- 昭和21年 1946 ● 音楽同好会を設立し音楽鑑賞やコーラスの指導に当たる。
- 昭和24年 1949 ● 鹿角合唱連盟（花輪・毛馬内・小坂合唱団で組織）の初代会長となる。
- 昭和35年 1960 ● 毛馬内盆踊保存会を設立し会長となる。十和田芸文協設立に努める。
- 昭和50年 1975 ● 鹿角市文化功労章、秋田県芸術文化功労章を受賞す。
- 昭和53年 1978 ● 1月自宅で死去。享年80歳。

## 黒沢隆朝の業績

1895-1987

音楽教育と音楽起源の研究



東京音楽学校で山田耕荂・田辺尚雄に師事、先輩成田為三の「音楽講義録」を手伝う。この頃童謡の作曲も始め、小田島樹人らと大正期の童謡運動の一翼を担った。

教壇で音楽を教えるうちに新しい教科書の必要を感じ、各種の音楽教科書及び教授資料を作った。それは情操教育を重視した総合的なもので、現在の音楽教育の原点となっている。

また、東南アジアや台湾の民族音楽を研究して、音階発生論(黒沢学説)を唱えた。著書に「楽器大図鑑」「楽典」「音楽起源論」など。訳詞に「山の音楽家」「狩人の合唱」がある。

## 大里健治の業績

1898-1978

音楽・郷土芸能の振興に寄与

芸術の志厚く音楽、郷土芸能、絵画など芸術全般を熱愛する。自宅に音楽教室を開設し、音楽同好会、合唱連盟、主婦のコーラスなどの会長として郷土に芸術的な息吹をもたらした。

一方古くから伝わる毛馬内盆踊りの保存と指導に努め、昭和12年秩父宮・同妃殿下に披露するなど、一貫して芸術の振興に寄与した。また県の無形民俗文化財の指定実現に尽力し、後の国指定の重要無形民俗文化財への道を開いた。

交友関係が広く音楽家、俳優、画家等多方面にわたった。特に成田為三との親交が深く自筆の「はまべ」の楽譜を贈られた。

